

小方尚子 - 個人消費のうるう年効果



小方尚子

株式会社日本総合研究所
調査部 マクロ経済研究センター 主任研究員

HR watcher

今年はうるう年。今月の経済活動は昨年2月より1日分多くなります。企業の設備投資などは、半年、1年といったスパンで計画されるものが多いため、あまり影響がみられませんが、個人消費の場合は、増加効果が出やすいと考えられます。

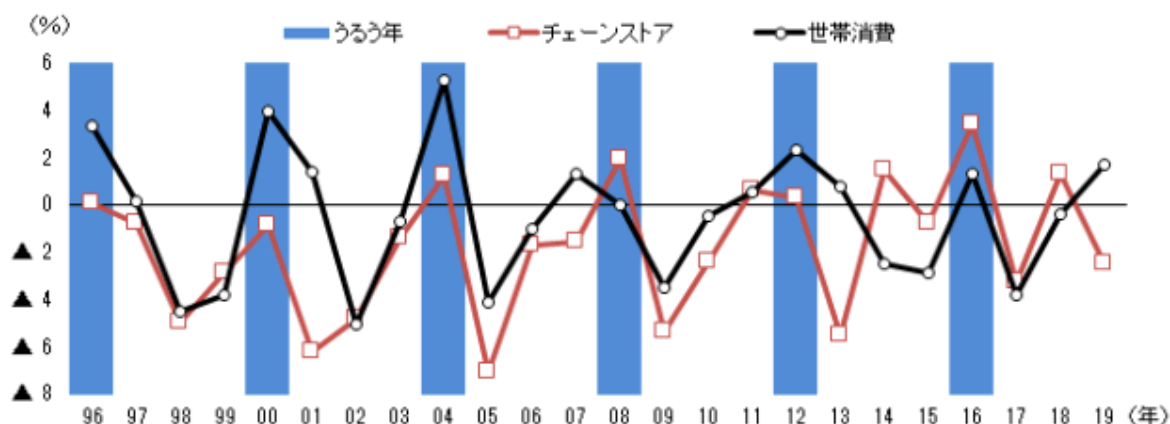
前年比では3%前後のうるう年効果

そこで、個人消費に対するうるう年効果を試算してみると、低成長が続く日本経済においては無視できないインパクトがあるといえます。

まず、単純に前年2月の28分の1がプラスされるとすると、前年比で3.6%分が消費額に上乗せされることとなります。食料のほか、日々使われる洗剤、化粧品などの日用品などでは、これくらいの影響が見込まれることとなります。一方、世帯消費全体では、2.7%の上振れにとどまると試算されます。家賃や新聞の定期購読料、習い事の月謝など、毎月の支払額が一定のものは日数増加の影響を受けないためです。

実際の2月の個人消費の動きを見ると、世帯消費(実質額)、あるいは日々の食料や日用品が中心となるチェーンストア販売額では、うるう年には前年比伸び率が上振れる年が多くなっています【図表】。これから発表される2月の各種販売額のニュースでは、このうるう年効果により、ヘッドラインが「前年比プラス」となるものが増えそうです。

【図表】2月の世帯消費支出とチェーンストア販売（店舗調整後、前年比）



資料出所：総務省「家計調査」、日本チェーンストア協会「チェーンストア販売統計」

【注】世帯消費は二人以上世帯実質額。1999年以前は、農家除く。2018年以降は調査方法変更の影響を調整した変動調整系列。

もっとも、うるう年の翌年には、逆に日数が前年対比1日少なくなるため、前年比の伸び率は下振れます。うるう年の上振れも、翌年の下振れも消費の実勢を見る上では、いわば邪魔な変動といえます。そこで、多くの経済指標では、季節調整値を作成する際にうるう年調整を行い、うるう年の2月の上振れと、3月の下振れを回避しています。

昨年末から復活したGDP個人消費のうるう年調整

こうした個人消費の好不調をマクロで判断する際には、GDP統計の個人消費が特に注目される指標といってよいでしょう。とりわけ足元では、消費増税後の落ち込みからの回復度合いが注目されるところです。

もっとも、GDP統計では、2004年から昨年まで、うるう年調整は行われていませんでした。GDP統計は、毎年12月に季節調整方法の見直しを行っていますが、統計的にうるう年効果の有意性が確認されなかったためです。この要因としては、①GDP統計が四半期ベースであるため、月次統計よりも1日の差が全体に与えるインパクトが小さくなること、②現在の季節調整算出に使えるデータが、集計方法の変更により1994年以降のものに限られ、そもそもうるう年とそうでない年のサンプルの数が少ないこと、が挙げられます。データ数の問題だけでなく、GDP統計の原統計の一つである家計調査では、年々、うるう年に伴う消費変動幅が小さくなる傾向もみられます。月々の支払い定額料金であるもの、シーズンごとに支出するもの、休日の回数に左右されやすい外食やレジャー費、あるいは天候要因に左右される季節商品など、単純な日数に比例しない支出の割合が高まっていることも指摘されます。

しかし、昨年12月のGDP統計の見直しによって、食料、エネルギーなど「非耐久財については、うるう年調整を行う」こととなりました。データサンプル数を増やすなどの対策をとり、うるう年効果が出やすい非耐久財に限ることで、その影響を有意に確認することができるようになったとの説明がなされています。季節調整モデルの見直しが、今年うるう年にぎりぎり間にあった形です。

以上のように、個人消費のうるう年効果については、根強いもの、薄れつつあるものと、さまざまであるほか、指標により取り扱い方法も異なります。このため、今後、順次発表される2月、あるいは1~3月期の個人消費指標を見る際には、消費の実勢を見たいのか、単純な支出額の水準を見たいのかといった目的に応じて、うるう年効果をどう扱っているのかを念頭に置いて判断していく必要があります。

Profile

小方尚子 おがた なおこ

株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 主任研究員

東京大学教養学部教養学科卒業。三井銀行（現三井住友銀行）入行と同時に三井銀総合研究所（現日本総合研究所）へ出向。2005年、法政大学大学院修士課程修了。アジア経済、米国経済の調査分析を担当した後、現在は、個人消費、雇用、賃金、物価など家計部門を中心とする国内マクロ経済分析に従事。